

令和 5 年度 吹田市乳がん検診実施状況

【用語について】

マンモグラフィ併用検診

：乳がん（視触診・マンモ併用）検診。40 歳以上対象。視触診で異常がなければマンモグラフィを撮影し、2 人の医師の読影により検診結果の判定を行う。1 回/2 年受診。

視触診要精検：マンモ併用検診時、視触診の時点で要精検と判定されること。

初回・非初回：過去 3 年度以内に受診ありの場合は「非初回」、受診なしの場合は「初回」に分類。

【受診率の算出方法】

全国、大阪府と比較するため、国が示す算出方法に基づき算出。

・対象者数 = 当該市町村に居住地を有する各がん検診の対象年齢の全住民

・受診率

$$= \{ (\text{前年度の受診者数}) + (\text{当該年度の受診者数}) - (\text{前年度及び当該年度における 2 年連続受診者数}) \} \div (\text{当該年度の対象者数}) \times 100$$

【受診者数の算出方法】

マンモグラフィ併用検診：当該年度内にマンモグラフィを実施し、二次読影を終えた件数

視触診要精検：当該年度内に視触診要精検となり、委託料を支払った件数

【プロセス指標※の算出方法】

・要精検率 = 要精検者数/受診者数 * 100

・精検受診率 = 精検受診者数/要精検者数 * 100

・早期がん割合 = 早期がん/がん発見数 * 100

・がん発見率 = がん発見数/受診者数 * 100

・陽性反応適中度 = がん発見数/要精検者数 * 100

※プロセス指標とは…がん検診精度管理指標のひとつ。がん検診事業は大まかに受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価のプロセスに分かれているが、プロセス指標は各プロセスが適切に行われているかを評価するための指標。

精度管理指標と基準値（40-74歳 連続受診者がいることを考慮）

	新プロセス指標
要精検率	6.4%以下
精検受診率	90.0%以上
がん発見率	0.31%以上
陽性反応適中度	4.8%以上

【参考】

	旧プロセス指標
要精検率	11.0%以下
精検受診率	80.0%以上
がん発見率	0.23%以上
陽性反応適中度	2.5%以上

参照：厚生労働省 令和5年6月 がん検診のあり方に関する検討会 資料

1 マンモグラフィ併用検診実施状況【令和5年12月末時点】

(1) 年次別受診者数¹⁾及び受診率

表1-1は69歳以下の受診実績を示したものである。令和4年度の受診者数は前年度比155人減少したが、受診率は0.4ポイント上昇した。また、令和5年度(4～9月)の受診者数は前年度の同時期と比較して50人増加している。初回受診者の割合は、令和元年度以降ほぼ横ばいの傾向がみられていたが、令和4年度は前年度比4.3ポイント上昇した。

表1-2は全年齢の受診実績を示したものである。40歳以上全数においても、受診率・初回受診者の割合ともに69歳以下と同様の傾向であった。

表1-1 令和元年度～令和5年度(4～9月)マンモ併用検診実績(40～69歳)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4～9月)	令和4年度 (4～9月)
対象者数(人)	76,299	76,393	76,725	77,251		
受診者数(人)	7,388	6,437	7,107	6,952	3,089	3,039
受診率	19.3%	17.7%	17.3%	17.7%		
初回受診者数(人)	2,281	1,928	2,234	2,480		
初回の割合	30.9%	30.0%	31.4%	35.7%		

表1-2 令和元年度～令和5年度(4～9月)マンモ併用検診実績(40歳以上全数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4～9月)	令和4年度 (4～9月)
対象者数(人)	116,783	117,774	119,119	120,318		
受診者数(人)	9,325	8,117	9,060	8,945	3,979	3,888
受診率	15.7%	14.5%	14.1%	14.6%		
初回受診者数(人)	2,728	2,248	2,660	3,007		
初回の割合	29.3%	27.7%	29.4%	33.6%		

1) マンモグラフィ併用検診の受診者数は、当該の年度末までにマンモグラフィの二次読影が完了した者を計上。

(2) 年齢階級別受診者数及び受診率

過去3年度間のマンモグラフィ併用検診の受診者数を年齢階級別にみると、令和2年度～令和4年度全てで50～54歳が最多であった。

受診率において、令和4年度は60～64歳が最も高い傾向がみられた。また、令和4年度において、前年度と比較し、40歳代の受診率の低下、60歳代の受診率の上昇がみられた。

表 1-3 及び図 1-1 令和2年度～令和4年度 マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
40～44歳	1,160	1,195	1,116
45～49歳	1,225	1,281	1,171
50～54歳	1,483	1,688	1,733
55～59歳	961	1,071	954
60～64歳	911	1,040	1,169
65～69歳	695	832	809
70～74歳	1,071	1,227	1,215
75～79歳	335	424	444
80歳以上	276	302	334

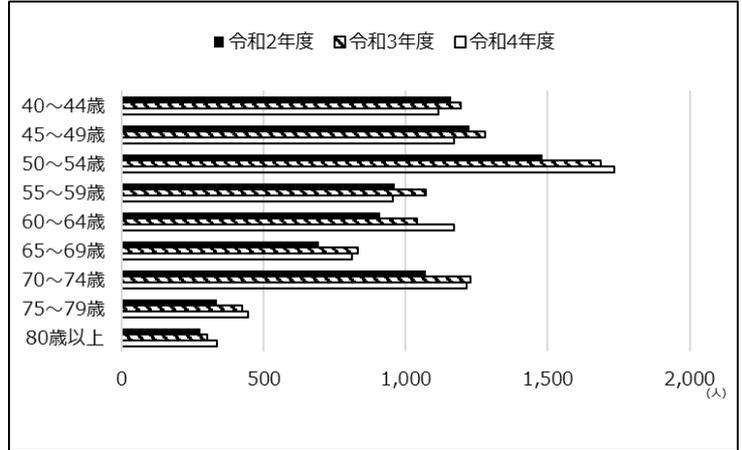
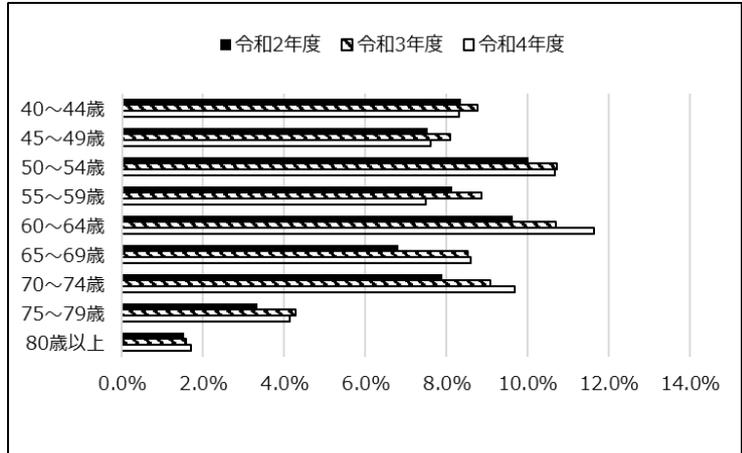


表 1-4 及び図 1-2 令和2年度～令和4年度 マンモグラフィ併用検診年齢階級別受診率

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
40～44歳	8.4%	8.8%	8.3%
45～49歳	7.5%	8.1%	7.6%
50～54歳	10.0%	10.7%	10.7%
55～59歳	8.1%	8.9%	7.5%
60～64歳	9.6%	10.7%	11.6%
65～69歳	6.8%	8.5%	8.6%
70～74歳	7.9%	9.1%	9.7%
75～79歳	3.3%	4.3%	4.1%
80歳以上	1.5%	1.6%	1.7%



(3) 要精検者

令和4年度の要精検率は9.4%で、前年度比2.2ポイント増加しており、基準値を満たしていない。精検受診率は経年的に見ても高水準を維持しているが、令和4年度はやや低下がみられた。

令和4年度のがん発見率は0.36%であり基準値の範囲内である。ただし、陽性反応適中度は3.8%であり、基準値を満たしていない。

表 1-5 令和元年度～令和5年度（4～9月）マンモ併用検診要精検者内訳（40歳以上全数）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4～9月)
要精検者数（人）		682	580	650	838	301
要精検率		7.3%	7.1%	7.2%	9.4%	7.6%
精検受診者数（人）		669	570	640	819	290
精検受診率		98.1%	98.3%	98.5%	97.7%	96.3%
精 検 結 果 内 訳	異常なし	297	279	299	425	160
	がん	31	17	19	32	14
	早期がん（再掲）	26	14	16	24	照会中
	早期がん割合	83.9%	82.4%	84.2%	75.0%	—
	がん疑い	0	0	0	0	1
	乳腺症	70	51	67	87	16
	繊維腺腫	40	46	46	61	22
	嚢胞	165	122	147	149	56
	その他	66	55	62	65	21
未受診		1	0	2	2	0
未把握		12	10	8	17	11
がん発見率		0.33%	0.21%	0.21%	0.36%	0.35%
陽性反応適中度		4.5%	2.9%	2.9%	3.8%	4.7%

【参考】プロセス指標比較（令和元年度）（40歳以上）

	全国	大阪府
要精検率	5.9%	6.8%
精検受診率	89.6%	94.4%
がん発見率	0.33%	0.40%
陽性反応適中度	5.6%	5.9%

参照：国立がん研究センター がん情報サービス
「がん登録・統計」がん検診のプロセス指標

精度管理指標と基準値（40～74歳 連続受診者がいることを考慮）

	新プロセス指標
要精検率	6.4%以下
精検受診率	90.0%以上
がん発見率	0.31%以上
陽性反応適中度	4.8%以上

【参考】

	旧プロセス指標
要精検率	11.0%以下
精検受診率	80.0%以上
がん発見率	0.23%以上
陽性反応適中度	2.5%以上

参照：厚生労働省 令和5年6月 がん検診のあり方に関する検討会 資料

2 視触診要精検実施状況【令和5年12月末時点】

(1) 視触診要精検者

令和4年度は7人が「がん」と診断されている。視触診の時点でしこり等が検出されるケースが要精検となるため、陽性反応適中度は高率である。

表2 令和元年度～令和5年度（4～9月）視触診要精検者内訳（40歳以上全数）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4～9月)
要精検者数（人）		82	60	57	46	24
精検受診者数（人）		79	59	57	45	23
精検受診率		96.3%	98.3%	100.0%	97.8%	95.8%
精 検 結 果 内 訳	異常なし	39	28	22	19	8
	がん	7	5	6	7	4
	早期がん（再掲）	2	3	4	4	照会中
	早期がん割合	28.6%	60.0%	66.7%	57.1%	—
	がん疑い	0	0	0	0	0
	乳腺症	3	2	5	0	1
	繊維腺腫	5	5	5	5	1
	嚢胞	19	17	15	9	6
その他	6	2	4	5	3	
未受診		0	0	0	0	0
未把握		3	1	0	1	1
陽性反応適中度		8.54%	8.33%	10.53%	15.22%	16.67%

3 乳がんであったケースの詳細【令和5年12月末時点】

(1) マンモ併用検診

表 3-1 令和4年度 マンモグラフィ併用検診においてがんであった者
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表 3-2 令和5年度(4~9月) マンモグラフィ併用検診においてがんであった者
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

(2) 視触診要精検

表 3-3 令和4年度 視触診要精検者においてがんであった者
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表 3-4 令和5年度(4~9月) 視触診要精検者においてがんであった者
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

(3) 病期分類Ⅱ以上かつ非初回者の前回受診状況

表 3-5 令和4年度~令和5年度(4~9月) 受診の対象者
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

4 マンモグラフィ実施医療機関別受診状況

令和3年度~令和5年度(4~9月)【令和4年12月末時点】
個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。